

Title: 「明日はどっちだ」



徳田 敬太
Keita Tokuda 1985
年生まれの食べざかり。世界という大海へ向け、今、旅立とうとしています。

● 最近のエントリー

📁 PJお別れ
(2016.07.13)

● アーカイブ

📁 2016年07月
📁 2014年09月
📁 2013年06月
📁 2011年01月
📁 2010年10月
📁 2010年09月
📁 2010年08月
📁 2010年07月
📁 2010年06月
📁 2010年05月
📁 2010年04月
📁 2010年03月
📁 2010年02月
📁 2010年01月
📁 2009年12月
📁 2009年11月
📁 2009年10月
📁 2009年09月
📁 2009年08月
📁 2009年07月
📁 2009年06月
📁 2009年05月
📁 2009年04月
📁 2009年02月
📁 2009年01月
📁 2008年12月
📁 2008年11月
📁 2008年10月
📁 2008年09月
📁 2008年08月
📁 2008年07月
📁 2008年03月
📁 2007年11月
📁 2007年10月
📁 2007年08月
📁 2007年06月
📁 2007年05月
📁 2006年10月
📁 2006年09月
📁 2006年08月
📁 2006年07月

明日はどっちだ > 2016年07月 アーカイブ

16.07.13

PJお別れ

[Tweet](#)[Check](#)

2016年 夏

とうとう最後にお別れを告げなければならない時がきました。忘れもしないフィールドワーク2006年、バックパックを背負って一人でベナン島から誰よりも早くたどり着いた場所です。



海外に出始めて、あれから10年。
時が経つのが年々早くなっているように感じます。

P9140307.jpg

まだ旅を始めたばかりだった。

Hari Raya Puasa38.jpg

- 2006年06月
- 2006年05月
- 2006年04月
- 2006年03月

投稿カレンダー

カテゴリー一覧

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0



Semoq Beri 44.jpg



明日はどっちだ - 日本写真芸術専門学校 フォトフィールドワーク

自分自身のアジアでの思い出も、世界がいかに豊かであるかも、物事を考える価値観もここから始まったことは間違いありません。一生の思い出をたくさんいただきました。マレーシアは本当に第二の故郷です。

経験は想像と知識を越えることがある。

そんなことを一人でマレーシア全土を旅し、美しい自然、人々の美しい営みと悩みに触れることで感じていました。

多民族、多宗教の国の立体的な印象に触れるのには時間がかかりました。

マレーシアという国の最初の印象が薄く、何があるのか全く見えていなかった時代。

まだスマートホンが出現する以前の世界。

インターネットの広がりはずでにありましたが、今ほど情報が行き交い合う直前の世界。

自分自身という個人の価値観からくる考えと知識と経験の欲求を埋めるものは特定の地域と人しか知らないと知り、自身の足で地域を巡っていた時代。

そんな無知と世界を考える価値観すらなかった時代の自分を育ててくれたマレーシア。

ほんとうに様々な心を動かす感動をできたことで、人生を豊かにする栄養をたくさん得られました。



こんなにも素晴らしい環境を作っていただいた事に心から感謝します。

人生の宝物を本当に本当にありがとうございました。

自分自身の人生の三分の一の10年間はこの場所と共にありました。

故郷の家が無くなるようでとても寂しいですが、学生でフィールドワーク中に一番最初に施設に到着し、一番長く濃くここで過ごしたであろう自分が本当の最後の最後にお別れを言いに来れたのは必然かもしれません。

皆様の想いと自身の心からの感謝と共に別れを告げておきます。





Terimakasih banyak! Jumpa Lagi!!

ありがとうございました。

カテゴリ :

post by 徳田 敬太 | 日時: 2016.07.13 | [パーマリンク](#)

Copyright 2007 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

powered by OLYMPUS